

湖水音頭の踊り 歴史と共に学ぶ

南富良野高1年生

【南富良野】南富良野高の1年生20人が「かなやま湖湖水まつり」で披露される「湖水音頭」の踊り方を地域住民から学んだ。

17日に実施。最初に町教育委員会の元職員、山名賢一さんが、金山ダムの歴史や湖水音頭が始まった経緯などを説明。続いて町内の山西春美さんと後藤治子さんが指導

南富良野高の生徒らに湖水音頭の踊り方を教える講師（右）



し、生徒たちは円になって歩きながら踊った。同校の福島青葉さん（16）は「水をすくうような動きや泳ぐような動きの足の動かし方が難しか

った」と振り返った。後藤さんは「若い子たちが湖水音頭に興味を持ってくれてうれしい」と話した。

（鹿野海人）